平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年　8　月　3　日　（土）

会場　　**日立商業高等学校体育館**

【男子の部】　　第　2　日目　　Fコート　　第　3　試合

チームA			チームB
県立八幡工業	**58**	19 1Q 27 12 2Q 14 8 3Q 26 19 4Q 28 OT	**95**	**北陸**
滋　賀				福　井

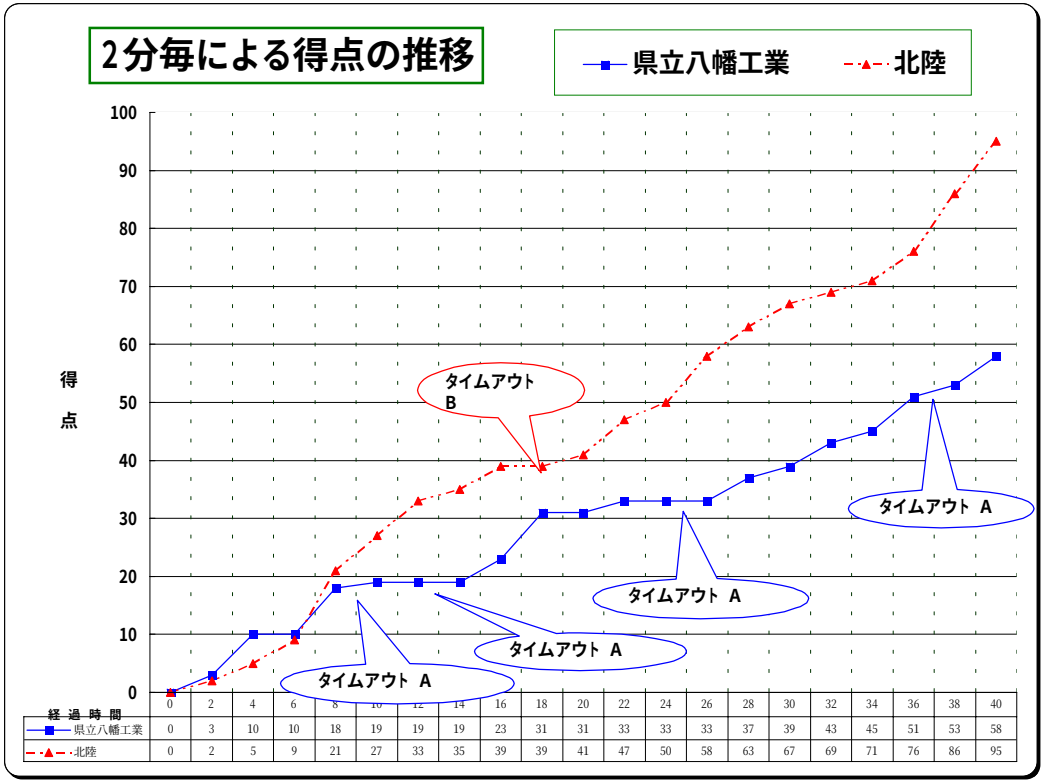
県立八幡工業

	番号	氏　名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	1P 成功	1P 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
◎	4	寺田　亮	14	0	10	6	15	2	4	1	4	8	2	2	3	0	40
◎	5	西堀　亮	9	0	0	4	15	1	2	4	4	4	5	6	3	0	40
◎	6	塩谷　和弘	8	1	6	2	10	1	2	5	1	2	1	1	1	1	32
◎	7	馬場　孝行	2	0	0	1	3	0	0	5	3	2	1	0	0	1	15
○	8	山下　憲男	8	2	6	1	4	0	0	3	1	4	2	1	0	1	21
	9	川原崎良明															DNP
◎	10	水　敬輔	17	0	4	8	19	1	2	2	2	3	3	2	2	0	37
	11	森本　高裕															DNP
○	12	塚本　恭士	0	0	0	0	1	0	0	3	0	5	0	0	0	2	15
	13	渡邉　博															DNP
	14	竹内　幹雄															DNP
	15	清水　大輔															DNP
	コーチ	奥村　浩								0							
			58	3	26	22	67	5	10	23	15	28	14	12	9	5	200
			確率	11.5%		32.8%		50.0%			計	43					

北陸

	番号	氏　名	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	1P 成功	1P 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
◎	4	石崎　巧	5	1	3	1	1	0	0	2	1	2	0	0	4	0	13
◎	5	網野　条	12	0	0	4	7	4	5	1	0	6	1	0	3	0	18
◎	6	小柳　龍一	14	4	8	1	3	0	0	2	1	5	0	5	4	3	21
○	7	中山　賢吉	4	0	1	2	7	0	1	2	0	0	4	0	5	0	17
○	8	金野　力	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	3	1	1	1	13
○	9	王　昱晨	17	0	0	7	10	3	3	4	4	4	1	0	1	3	18
◎	10	陳　金全	12	0	0	4	8	4	6	0	1	7	2	0	0	1	22
○	11	加藤　亮平	8	0	1	4	6	0	0	0	4	2	0	0	2	1	18
○	12	長田　陽佑	2	0	2	1	3	0	0	0	2	8	1	0	2	0	21
○	13	築舘　潤	7	1	2	1	3	2	2	0	0	2	4	1	0	0	10
◎	14	山本ｴﾄﾞﾜｰﾄﾞ	6	0	3	2	9	2	2	1	2	3	1	0	0	0	17
○	15	西村　文男	6	0	0	3	8	0	0	0	0	1	0	2	0	0	12
	コーチ	津田　洋道								0							
			95	6	20	31	68	15	19	12	15	40	17	9	22	9	200
			確率	30.0%		45.6%		78.9%			計	55					

2分毎による得点の推移



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
県立八幡工業	0	3	10	10	18	19	19	19	23	31	31	33	33	33	37	39	43	45	51	53	58
北陸	0	2	5	9	21	27	33	35	39	39	41	47	50	58	63	67	69	71	76	86	95

戦　評

ゲーム開始後2分間両チーム共に得点を決められず、序盤は接線。北陸のハーフコートマンツーマンに対し八幡工はオールコートマンツーマンで一線目からのプレッシャーでチャンスを狙う。開始4分で10－5で八幡工がリード。対する北陸も運動量で八幡工を凌駕し、疲れが見えてきた八幡工に対し、＃6小柳の3Pシュートで21－19と北陸のリードで第1P終了。

第2Pに入って、八幡工はインサイドを攻めきれず、外角のシュートを放つが、リバウンドを北陸の＃9王、＃10陳に支配される。メンバーを大幅に入れ替えた北陸に対し、＃4寺田、＃5西堀の粘りあるハーフコートマンツーマンからの速攻で点を取り返し、10点差までつめよる。

第3P、勢いの衰えない北陸に対し、八幡工はたまらず＃7馬場が開始5分で退場。そこで2－1－2ゾーンに切りかえ、勝負を狙い続ける。しかしゴール下を支配した北陸の強さが目立ち、大きく北陸がリード。

第4Pでも八幡工の粘りは続くものの、北陸の勢いは止まらず最後は北陸＃13築舘のブザービーターで試合は終了した。

主　審	関口知之	副　審	岩木太郎	記入者	秋葉純